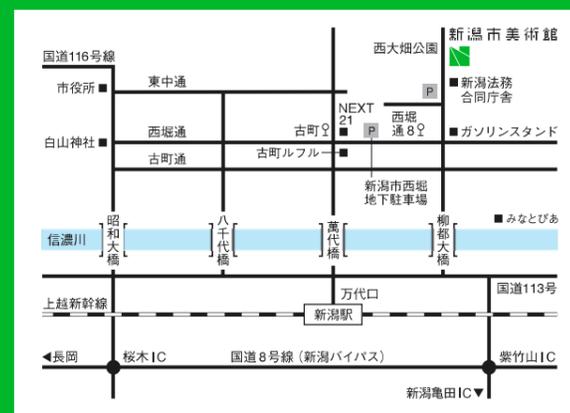


交通のご案内

- バスで 新潟駅万代口バスターミナルから
 - [A] [C6八千代橋線]乗車時間約16分→「西堀通八番町」下車→徒歩5分(約400m)
 - ※便数は多くありませんが美術館最寄りのバス停です
 - [B] [B1萬代橋ライン(BRT)など]乗車約10分→「古町」下車→徒歩12分(約860m)
 - ※最も便数が多いです
 - [C] [観光循環バス]乗車約30分→「北方文化博物館新潟分館前」下車→徒歩6分(約500m)
- タクシーで 新潟駅万代口から約10分
- 自動車で
 - [1] [高速道路]日本海東北自動車道 新潟亀田ICを降り、柳都大橋経由で約20分
 - [2] 国道8号線(新潟バイパス)紫竹山ICを降り、柳都大橋経由で約15分
 - ※駐車場情報は当館ウェブサイトでご確認ください。
- にいがたレンタサイクルステーションです
 - 自転車の貸出あり(有料)※詳細は「にいがたレンタサイクル」で検索



新潟市美術館

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町5191-9
 TEL:025-223-1622 FAX:025-228-3051
 Mail:museum@city.niigata.lg.jp
 URL:http://www.ncam.jp/

www.facebook.com/ncam.tsunagaru/

ご利用案内

- 開館時間 午前9時30分～午後6時
 冬季12/24～3/28は、午前9時30分～午後5時
 ※観覧券の販売は閉館30分前まで

- 休館日(臨時に変更になる場合があります)
 ※中面のカレンダーをご覧ください。

観覧料	コレクション展		企画展
	個人	団体(20人以上)	
一般	200円	160円	そのつど 定めます
高・大学生	150円	110円	
小・中学生	100円	70円	

*今年度で開催する当館主催の企画展は、中学生以下無料となります。
 *当館主催の企画展観覧券でコレクション展も観覧できます。

観覧料の免除

- 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方および一部の介助者は、コレクション展と当館主催の企画展が無料。受付でご提示ください。
- 新潟市内の小・中学校、特別支援学校、養護学校の児童・生徒が教育活動としてコレクション展や当館主催の企画展を観覧する場合、事前の免除申請により引率者を含む観覧料が無料となります。詳細は当館ウェブサイトをご覧ください。

バリアフリー

- 車椅子を無料で貸し出しています。
- ベビーカーを無料で貸し出しています。
- 多機能トイレは1階にあります(オストメイト対応)。
- ベビーシートとベビーチェアを1階のトイレに設置しています。
- 授乳室をご利用の方は受付にお申し付けください。
- 補助犬の同伴可能です。

【カフェ】こかげカフェ

ランチやティータイムに、ゆったり楽しいひとときを。メニューは全て卵・乳製品不使用。
 西大畑ベーグルはこちらで販売しています。(ラストオーダーは閉館1時間前)
 TEL:050-3590-4402 ※営業日時は美術館に準じます。

【ミュージアムショップ】ルルル

展覧会の関連グッズなど、楽しい雑貨を販売。美術館の思い出を持ち帰りませんか。
 TEL:070-6670-9334 ※営業日時は美術館に準じます。

作品の解説・関連講座

- コレクション展のギャラリートークは、月1回開催します。
 - 美術館協会による「ふれあい美術館ガイド」は、12月を除き月1回開催します。
 - 企画展の作品解説、美術講座など各種講座・イベントのご案内は、チラシやウェブサイト、Facebook、「市報にいがた」などでお知らせします。
 - その他、展示解説をご希望の団体は、事前にご相談ください。
- *展覧会、イベント等の日程は変更する場合があります。

最新の情報は当館ウェブサイトでお確かめください。

主な施設

- 市民ギャラリー
 個展やグループ展など、美術創作活動の発表の場にご利用いただけます。
 *展示壁面長 50.1m/天井高 3.3m
 *入場無料を条件とし、物品販売はできません。
- 実習室
 「創作」を通して美術を楽しむ場。原則金曜日は終日無料開放。
 申込み不要。金曜以外の利用は要申込み。(有料)
 *入場無料を条件とし、物品販売はできません。
- 展示室
 コレクション展では、当館所蔵品の魅力をテーマに沿ってご紹介。
 企画展では、季節ごとに多彩な展覧会を開催します。
- ラウンジN
 展覧会を見たあとの休憩や待ち合わせに。軽い飲食もOKです。
 気軽に参加できる造形プログラム「きままプログラム」も開催します。
- 講堂
 講演会や美術講座を開催。
 美術に関するセミナー、研究など発表の場としてもご利用いただけます。
- 本のラウンジ
 全国の展覧会カタログなど、美術館ならではの面白い本いろいろ。
 くつろぎのインテリアで、ゆったりお過ごしください。

施設の貸し出し

お問い合わせ先

施設の利用に関するお問い合わせ
 お申し込みはこちら TEL: 025-223-1622

使用料

	1日	午前	午後
市民ギャラリー	8,000円	2,700円	5,300円
実習室	9,000円	3,000円	6,000円
講堂	11,000円	3,700円	7,300円

利用期間と受付開始日

	ご利用可能期間	受付開始日
市民ギャラリー	2週間以内	利用開始日の9ヶ月前の月の1日から (1日が休館日の場合は翌開館日)
実習室	1日以内	利用開始日の3ヶ月前の月の1日から (1日が休館日の場合は翌開館日)
講堂	2日以内	



新潟市美術館
 Niigata City Art Museum



提供: 新潟市美術館「展覧会案内」10/31~12/13



長沢明 マウンテンII 2007年 個人蔵

長沢明展 オワリノナイフケイ

4月25日(土)→6月7日(日)

新潟市北区出身、日本画を出発点に、国内外で活躍する長沢明(1967-)。トラやクジラ、翼を広げたトリなどのモチーフを大画面に描く作品で知られます。初期の作品から昨年刊行の絵本原画まで、平面・立体・インスタレーションにより多面的に紹介。常設展示室の一部にも描き下ろしの新作を展示し、新たな「風景」へと誘います。【一般当日 1,000円】



丸沼芸術の森所蔵 ベン・シャーン展

6月16日(火)→7月29日(水)

ベン・シャーン(1898-1969)は、1930年代から60年代にかけてのアメリカ社会を描き続けました。本展では、代表作《サッコとヴァンゼッティ》の水彩をはじめ約150点の作品を展示。さらに、シャーンを初めて日本で紹介した新潟出身の作家・阿部展也に贈られた《ペンを持つ手》(当館蔵)や、写真資料などを通してその交流についても紹介します。

【一般当日 1,000円】
ベン・シャーン ほんとうに偉大な人たちはわたしは忘れない
1965年 丸沼芸術の森蔵 © Estate of Ben Shahn/
VAGA at ARS, NY/JASPAR, Tokyo 2020

第52回 新潟市美術展

前期:10月14日(水)
→10月18日(日)

後期:10月21日(水)
→10月25日(日)



艶美の競演

—東西の美しき女性 木原文庫より—
10月31日(土)→12月13日(日)

近代日本画の、しなやかな線の美しさを伝える個人コレクション「木原文庫」の名品をご紹介します。東京の錦木清方、大阪の島成園をはじめ、上村松園、北野恒富らの描いた「美人画」の、艶やかな魅力をたどります。併せて、横山大観、竹内栖鳳、富田溪仙らの花鳥画・風俗画なども展示し、日本画の技と情趣をお楽しみいただきます。【一般当日 1,000円】

北野恒富 鶯娘 制作年不詳 木原文庫蔵(部分)

新潟市美術館 2020年度展示スケジュール



コレクション展I

4月25日(土)→6月7日(日)

ポナールが捉えた光、植物がモチーフの工芸品、ピカソやジャコメッティらが目指した新鮮な表現など、春から初夏の気分を彩る作品を展示します。あわせて、近年の新収蔵品から西脇順三郎と熊谷喜代治を特集します。

ビエール・ポナール 浴室の裸婦 1907年



コレクション展II

6月16日(火)→12月6日(日)

じっくり味わいたくなるテーマ別に収蔵品をご紹介します。末松正樹やエルンストらの作品からは「戦争と平和」を。佐藤哲三の作品群には「画家のまなざし」。ピカソら画家達が狙った「画中画」の表現と効果…。季節に合わせた作品も並びます。

末松正樹 作品 1945年



コレクション展III

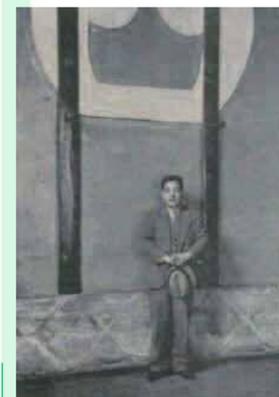
クンシランの記憶

12月24日(木)→2021年3月28日(日)

新潟市出身の佐善明(1936-91)は、写真やフォト・モンタージュを駆使した油彩画を制作しました。写真によって断片と化した「記憶」は、われわれを追憶へと誘います。佐善の作品を中心に「記憶」と「写真」の関係について考えます。



佐善明 クンシランの記憶 1982年



二笑亭の式場隆三郎 1937年頃

式場隆三郎: 脳室反射鏡

8月8日(土)→9月27日(日)

式場隆三郎(1898-1965)は現在の五泉市に生まれた精神科医。新潟医学専門学校(現・新潟大学医学部)で学ぶ一方、最初から民藝運動に参画。特異な住宅建築「二笑亭」の紹介など、雅俗をまたぐ膨大な執筆をこなしつつ、ゴッホ複製画展や山下清展の全国巡回でも大衆の趣味を導きました。この知的巨人のカラフルな足跡を紹介します。【一般当日 1,000円】



レジナルド・ダルビー「トーマスとさかなつり」1949年

© 2020 Gullane (Thomas) Limited.
© 2020 HIT Entertainment Limited.

原作出版75周年

きかんしゃトーマス展

ソドー島のなかまたちが教えてくれたこと
12月24日(木)→2021年3月28日(日)

1945年、原作者ウィルバート・オードリー(1911-97)が「The Railway Series(汽車のえほん)」を刊行して以来、絵本や人形劇、アニメを通して世界中で親しまれている(きかんしゃトーマス)。本展では、日本初公開品を含む絵本原画をアニメの世界とも重ね合わせ、体感型・体験型に展示構成。原作者が子どもたちに伝えたかったメッセージの原点を振り返ります。【一般当日 1,000円】

*市展会期中、11月3日(文化の日)はコレクション展無料 *企画展は、半券持参で2回目は団体料金になる「リピーター割引」

展覧会や事業の内容、料金等は変更することがあります。

新津美術館 展覧会

新潟市秋葉区蒲ヶ沢109番地1
花と遺跡のふるさと公園内
TEL:0250-25-1300

生誕160年記念 ミュシャ展
美しきアール・ヌーヴォーの華
4月11日(土)→6月14日(日)

不思議の国のアリス展
6月27日(土)→9月6日(日)

第14回秋葉区美術展覧会
9月19日(土)→9月27日(日)

特別展 ミイラ
「永遠の命」を求めて
10月10日(土)→12月23日(水)

第17回新潟教育アート展
2021年1月4日(月)→1月9日(土)

生誕100年記念 日本画家・横山操展
—その画業と知られざる顔—
1月23日(土)→3月21日(日)